

早寝・早起き・朝ごはん運動の推進に向けて

活動の名称 早寝・早起き・朝ごはん運動

団体等の名称 小城市教育委員会

活動に含まれる（連携している）団体等

- 幼稚園 ■ 保育所 ■ 小学校 ■ 中学校 □ 高等学校 □ 中等教育学校 □ 特別支援学校
- 児童館 ■ 公民館 ■ 図書館 ■ PTA □ 子育て・教育支援団体、NPO □ 企業・事業所
- 病院・保健所 □ 早寝早起き朝ごはん運動・家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
- 行政（教育委員会） □ 行政（保健・福祉部局） □ 行政（その他の部局）
- その他（市内青少年育成市民会議）

活動の概要

◆ 活動の目的・趣旨

学校・家庭・地域社会の協力を得ながら連携を図り、各種事業を展開している。早寝・早起きや朝ごはんをとるなどの望ましい基本的習慣を育成している。子どもの生活リズムを安定させることを目的とする。

◆ 主な活動内容



▼小城市教育委員会の重点目標の一つとして位置付け、市内一体で取り組む。〈平成20年度〜〉

▼「早寝・早起き・朝ごはん」カレンダーの作製・配布 〈平成22年度〜〉

小・中学生12校へ原画及び標語を募集し、それぞれ12点選出表彰し、毎年その作品でカレンダーを作製している。幼稚園・保育園・小・中学校の子どもがいる世帯へ配布し、カレンダーによる年間通じた意識づけを行っている。

▼市内7地区の青少年市民会議育成会では、「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進を掲げ、のぼり旗や看板を作成し、施設や通学路などに設置し啓発活動を行っている。



審査の様子



カレンダー表紙



1月

◆ 活動の成果と今後の展望

▼平成24年度から25年度にかけて、11時以降に就寝する児童・生徒の割合が3%減少

▼朝食の喫食率 平成25年度（小5）87%（中2）86.5%

▼「早寝・早起き・朝ごはん」カレンダーの原画・標語への応募数は増えてきている。子どもたちの意識改革に繋がっていると思われるが、この運動を実行するためには、保護者の意識に定着させることが不可欠である。今後も目に見える活動を継続して行い呼びかけていく。